

# ジェンダー平等ミーティング

令和5年度  
若い世代からの  
ジェンダー平等  
推進事業

9月27日(水)テーマ  
「健康とジェンダー」



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 「健康とジェンダー」

講師：県内医大生

- ・男性のからだ

- ・女性のからだ

< 感想を踏まえ意見交流 >

- ・ライフプランと性について

< 人生で大切にしたいことは？ >

## 感想

- ・自分のライフプランについて考える時間が特に心に残りました。話し合ったグループの中には高校でも自分のライフプランについて考える時間があったと話す人もいて、学校で人生の選択肢について教えてもらえたり自分で考えたりする時間があれば、もっと日常的に自分のライフプランについて考えられたのかもしれないと思いました。しかし、自分が考えるライフプランが思うように描けるわけではなく、自分の都合や周りの人や時代の流れなど自分以外の何かに影響されてしまうことも考えなければならないなと思いました。
- ・色々学べましたが、自分らしくとは何なのかすごい考えさせられたなと感じました。
- ・今までのジェンダーの授業や性教育のおさらいだなと思っていたけど、自分とは違う価値観の考え方のお話が聞けたのでより理解が深まりました。

## 感想

- ・普段、日常生活で考えたことがありませんでした。今回のミーティングを受けて、改めて自分自身の生き方を見つめなおしていきたいと思います。また、結婚するしないなどは、個人の自由なので、自分らしく生きることが大切だと思います。
- ・今回の話は、あまり周りとは話し合うには恥ずかしさや難しい部分があるため、しっかりと学ぶ機会や話し合う機会がありませんでした。みんなが思っていることが似たようなことで、これまで関わるのが少なかったため、しっかりと知識として学べてよかったです。
- ・「自分らしく生きる」について、私は色々考えていた。自分を大切に生きていくべきだと思う。他人との関係に迷わず、自分を失わず、自分がこの世で唯一だと認識し、自分の主体性を意識するべきだと思う。

## 感想

- ・性というものは恥ずかしいものと感じる、嫌悪感がある事は事実だけど、恥ずかしくはない事であり性行為をしたいと思う気持ちは恥ずかしくはないと思えるような世の中になっていければ良いと思いました。
- ・授業で聞いたことがほとんどだが再確認できてよかった。自分の生き方と急に言われてあまり意見が出なかったが普段は考えることがないため、考えることができてよかった。
- ・学校の授業で習ったことよりも詳しいことを教えてもらえたと感じました。また、自分の人生の今後なことなどは普段あまり考えないので難しいと感じました。自分の今後について考えてみるのも良いかもしれないと感じました。

# ジェンダー平等ミーティング

令和5年度  
若い世代からの  
ジェンダー平等  
推進事業

10月11日(水)テーマ

「性の多様性について考える」



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 「性の多様性について考える」

講師：清水展人さん（一般社団法人日本LGBT協会代表理事）

- ・性のあり方はいろいろ
- ・性的指向、性自認・・・人権課題  
性表現、性的特徴・・・付随しているもの
- ・性のあり方の中で見えやすいのは、性表現  
人権課題である性的指向、性自認は見えづらい
- ・少数派というだけで生きづらいことがある
- ・ご自身のことについて
- ・「個人が努力」ではなく、いかに環境を整え障壁を取り除いていくか

## どんな問題があると考えられるか

### ◎活動や参加を制限されると考えられるもの

- ・職種
- ・社会的地位、役割
- ・出産
- ・トイレ
- ・服装、制服
- ・更衣や入浴



## どんな問題があると考えられるか

### ◎活動や参加を制限されると考えられるもの

- ・就職活動、働くこと
- ・結婚
- ・学校の中での役割
- ・成人式、行政の式典
- ・親族と顔を合わすこと
- ・イベント

## どうすれば当事者の方が生きやすい環境になるだろう？

- だれでもトイレを増やす
- 履歴書の男女欄をなくす
- 学校などの男女別の制服や制度
- 成人式（服装の押しつけをやめる、表現への理解）
- メディアで正しく取り上げたり、講演会を増やしたりする
- 家族や友人などいろいろな人の理解
- 不妊治療や人工授精のサポート
- 同性婚制度

## 感想

- 現代社会に関する疑問や改善点を改めて考えるきっかけになった。普段自分たちが生きる世の中で、自分1人の力じゃ何も変わらないと思って生きてきたが、話を聞いて変えられることもあるのではないかと思うことができた。貴重な経験だったと思う。
- 実際に色々体験された方のお話は講義で習うのとはまた違う新しい考え方や感じ方を覚えた。この経験をしっかり活かして今後に繋げたい。
- LGBTQ当事者の方ならではの経験や苦勞してこられたことなど、普段なかなか聞くことのできないリアルなお話で、大変興味深く聞かせていただきました。また、LGBTQとそれを取り巻く社会の現状なども勉強になることばかりでした。

## 感想

- 性は虹色に輝いているという言葉が印象に残っている。最近SDGsの一つの項目として提唱されていることは知っていたが、恥ずかしながら全くの他人事だった。身の回りにそんな人いないだろうと勝手に思い込んでいた。講義を聞いただけで満足していたらまだ他人事と同じなので、持ち帰って大学の中でできることはないかを真剣に考えたい。
- 今までLGBTについて理解していたと思っていましたが、やはり直接悩んでいる人の声を聞くことで気づかない部分を知ることが出来ました。ジェンダーについて理解をしていることが重要ですが、声を聞くことで新たに気づくこと、もっと社会的に認知されることが今の現状を変えることにつながるのではないかと深く思いました。

## 感想

- 今日の話聞いて、社会的には男性と女性と固定化がされている。しかし、世の中には、性に関して違和感を感じている人もいる。その為、人に不快に思われるような発言をしないように気をつけていく必要があると思いました。
- まだトランスジェンダー、性同一性障害などといった言葉が世の中に浸透していないころの、自身を理解してくれる人が周りにいないという状態は考えられないほど辛いものだろうと思った。また、だからこそ清水さんのように性的マイノリティに関しての話を詳しく世の中に発信してくださることは、世の中に理解されることにつながると思った。ホルモン治療で肉体が男性に近づくことで悩みが解消されると思ったが、それでさらに悩みが増えることがあることには驚いた。

## 感想

- ・「決めつける」という行為は、人を傷つけるというのがとても印象的でした。今の社会にある偏見によってされる決めつけをどのようになくせばいいのかを考えるととても貴重な時間となりました。参加してよかったです。
- ・同性カップルがいてもおかしくないと思えるように同性でも結婚できる制度を作ればいいのではないかと思いました。
- ・当事者のお話を聞いてやはり日本はまだまだ法律の整備などが追いついていないなと感じられました。また、自分が思ってもいないような体験を聞いて、固定概念の恐ろしさを感じました。
- ・ジェンダーはひとによって違うので、自分の中の偏見をひとに押し付けて無意識に傷つけてしまわないよう気をつけたい。

## 感想

- ・人に決められた性別はなく、人それぞれの考え方、生き方があって1つだけの道があるのではなく人生のルールは無数にあり、どのルールを辿って生きていくかはひとそれぞれであると思いました。
- ・性別に対しての理解がまだまだ世間的に追いついていないことを学ぶことができた。今回お話をいただいた清水さんも自分を出すために相当な過去を背負っているし、私の先輩も高校在学時に性自認について私に詳しく話してくれるまで自殺願望を抱えながら辛い毎日を送っていた。私自身は一般的な性自認で性的指向であるがゆえに、今の一般的な何不自由ない生活を送れている。しかし、そうでない人たちはやはりそうでない自分を背負いながら生きていかなければならない。みんなが幸せに生きる社会にするために私ができることは偏見なく理解し寄り添うことだ。そのために、この後もジェンダー問題には積極的に取り組んでいきたい。

# ジェンダー平等ミーティング

11月22日(水) テーマ

令和5年度  
若い世代からの  
ジェンダー平等  
推進事業

## 「男性育休から考えるジェンダー」

共催：厚生労働省



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS





# 「男性育休から考えるジェンダー」

講師：関本さん（東京海上ディーアール株式会社研修講師）

## < 現状と課題 >

- ・2000年くらいを境に共働き世帯が専業主婦世帯を上回る
- ・性別役割分担意識が変わってきている
- ・女性活躍のためには、男性の家事育児参画は不可欠
- ・男性の家事育児に対する意識は世代間でギャップがある
- ・妻が夫よりも家事育児を多くしているのが現状
- ・育休取得率 男女で大きな差

# 「男性育休から考えるジェンダー」

講師：関本さん（東京海上ディーアール株式会社研修講師）

## < 現状と課題 >

- 「取得したい」と思っている男性は多い（希望と現実が乖離）
- 『育児介護休業法』 → 性別の規定はない
- 福利厚生は就職活動の際にも気にしてみるとよい
- 『産後パパ育休』 休業中に一部仕事も可能  
柔軟な育休取得につながる
- 諸制度 → 「両親で協力して取得」するためのもの

# 「男性育休から考えるジェンダー」

講師：関本さん（東京海上ディーアール株式会社研修講師）

## < 現状と課題 >

### ・取得のメリット

男性  
女性  
職場  
女性活躍  
家計

### ・育休取得は「手段」

男性も女性も（だれもが）仕事と家庭を  
両立できるようになることが大事

## 感想

・ジェンダー平等ミーティングでは、男性の育休制度に焦点を当てた活発な意見交換が行われた。共通の意見として、男性が育休を取りやすくすることが、より健全な家庭と職場環境を促進する鍵であることが挙げられた。また、男性育児休暇制度が男性、女性、家族、企業にもたらすメリットについても触れられ、この制度が社会にもたらす変化に期待したい。

・若い男性の家事育児への意識が高いことに驚いた。日本が欧米に比べて育児休暇等の面で遅れている一つの要因として私が考えるのは、雇用形態です。ジョブ型雇用の導入推進が叫ばれていますが、まだまだ年功序列が抜けていません。だから家事は女性がすべきだという50代以上の方が管理職に残り、若い男性が育休を取得するのを阻んでしまう構造にハマってしまうのだと考えます。若くて成果をあげられる人が早く昇進し、各業界で世代交代を起こすことこそ男性育休の取得率をあげることに繋がると考えています。

## 感想

- ・育休などのことは、まだあまり考えたことがなかったので、今日詳しく知れて良かった。また、グラフを見たところ若い人たちは家事・育児は男女共にやるものと考えている人が多いけれど、実際に男女共に家事・育児をやっている人はどれくらいいるのか気になった。
- ・産後パパ育休や、育休を取得した場合の収入の変化については知らなかったのでも勉強になりました。男女が平等に社会参画できるようひとりひとりのなかにある偏見をなくしていくことが大切だと考えました。またそのためには長期的な取り組みにはなりますが、講演会の実施や教育の現場でジェンダーバイアスについて人々が学ぶことで社会から少しずつそういった偏見を取り除いていくことが必要だと思います。
- ・男性育休を取得したいのにできない状況は改めるべきだと思った。男女問わずできることはあるのに男女で分かれているものがあるのは直していくべきだと感じた。

## 感想

- メンバー内に、今回のディスカッションの課題に対して「何故それが悪いのか」という根本的な疑問を提示してくれたお陰で、根本的な疑問に気づくことができた。また、個人的に充実した、言い換えれば、楽しいディスカッションが出来た。
- 最近だんだんと男性が育休を取れるようになってきている中で不安がある人のためにも休んでいる間の周りの人のサポートや戻ってきても安心して働けるような制度があっていいと思いました。また、男性と女性でどちらか片方が育児や家事も分担するのではなく2人で協力し合いながらすることが必要だと再確認することができた。
- 議論の場では的外れな意見かもしれないが、問題だと思うものについて問題視しすぎなのではないかと思った。今現在いまいち問題だと議論されるものについての問題を問題だと理解できていないので腑に落ちるまで色々な人の意見を聞きたい。

## 感想

- まだまだ幼少期からのジェンダー平等教育が足りていないからこそこのような議論をしなければならないなと感じました。
- 男の人の育休はもっと当たり前になって欲しいと考えています。これが当たり前にならない現状、より多くの人に当たり前になるようSNSやメディアに取り上げることが重要だと感じました。
- 育児休業についてテレビで見ることはありましたが、実際にどのような制度であるのかはあまり知らず、制度取得についてあまり考えたこともなかったもので、制度について知ることができ、交流して考える機会があって良かったと思いました
- 今回のミーティングで男性の育休や、職業の男女比率について考える機会になった。

## 感想

- ・今回受けて男性も育休をとっていく必要があると感じられた。また、自分の身の回りにも無意識のうちに男女どちらがやってもいいものをどちらかに固定していたことに気づくことができた。
- ・グラフを見て、そんなに取得率少ないんやーと思いました。取得しやすい環境づくりが必要なのかなと強く思うようになりました。
- ・男性の育休の法律がこれ程整っているのにこのような場でなければ知ることが出来なかったのは惜しいと思う。もっと男性たちに広がり育休取得率が上がって欲しいと考える。
- ・色々な考えの人と意見を共有しながら自分自身の考え方を整理出来て貴重な体験だったと感じた。
- ・性別についての問題が少しでも減ればよりよい社会になると思った。



## 感想

・初対面の人とグループになり、緊張しましたが、司会として積極的に会話を回し、結果として多くの意見が出て良かったです。特に女子会はあるけど男子会はないという意見は自分になく、女性向けの取り組みによって、かえって男性の敷居を上げているという内容に至ることができました。私は男性ですがベビー用品店でバイトしており、男の子は珍しいと言われることが多々あります。PTAなどもそれと同じで性の偏りを気にしない人が積極的に参加することが大切だと思いました。男性女性を問わずにやりたいこと、好きなものを発信できる社会にしていきたいと思いました。

・様々な考えが出る中で、思いやりの心が大切なのは、という意見がでていました。とても楽しい話し合いで、なぜそうするのか、どうしてそのことが問題なのかと考えさせられるような話し合いができたと思いました。